

令和3年度 歯学部白衣授与式

5月11日、令和3年度歯学部白衣授与式を上條記念館で挙行了。同式は、臨床実習にのぞむ歯学部5年生が倫理観や患者さんに対する思いやりの心を再認識する目的で毎年実施している。今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、校歌斉唱は清聴のみにするなど、必要な措置を講じたうえで、対象学年と一部の大学関係者のみで執り行なわれた。



告辞：榎宏太郎歯学部長

榎宏太郎歯学部長は告辞で、「臨床実習はプロフェッショナル醸成の場であり、患者さんの悩み、不自由さに寄り添うことが重要です。今までの快適な学環境から抜け出て、臨床という大変な現場に赴くことになり、同時に、現在の歯科医療の問題点を考えながら見つけ、卒後の人生および研究マインドにつなげてください。実りある臨床実習を望みます」と述べた。白衣は、5年生100名の中から学生代表の木内彩紀さん



白衣授与：木内彩紀さん

から学生代表の木内彩紀さんに、榎歯学部長より授与された。学生たちは真新しい白衣を身につけ、これから始まる臨床実習への決意を新たにされた。列席者からの祝辞の後、「先輩からの言葉」と題して臨床研修歯科医による講話が行われた。講話では「臨床実習の場は、今までの学修が活かされ、歯科医師の姿を実感できる機会です。問題点は自分自身で見つけ、至誠一貫を体現することを目指してください」とのメッセージが送られ、学生たちは熱心に耳を傾けていた。

最後に学生代表の東郷健真さんが昭和大学宣言を行い、医療人としての誓いを新たにし、閉式となった。これから卒業まで、学生は本学附属病院および関連実習施設における実習課程で研鑽を重ねていく。

縄田修一准教授がベストオーガナイザー賞を受賞

日本臨床腫瘍薬学会学術大会2021



縄田修一准教授は、がん患者の就労支援を考へる「薬剤師がすべき支援は？」が、参加者から高い評価を得たとして同賞に選ばれた。

この度は、このような賞を受賞し、大変光栄に思います。シンポジウムの演者の先生方、実際に視聴していただいた多くの参加者の皆様へ感謝します。

私は長年がん治療の場で、臨床薬剤師として臨床業務・教育・研究を行ってまいりました。がん治療におけるチーム医療の重要性は、学生の頃から、多くの先生方から学ばせていただきました。本シンポジウムは、がんサ

Annual Meeting of Japanese Society of Pharmaceutical Oncology in 2021
日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2021

ベストオーガナイザー賞
縄田修一先生
(昭和大学病院 薬剤部/昭和大学 薬学部 病院薬剤学講座)

シンポジウム 3: がん患者の就労支援を考へる
～薬剤師がすべき支援は？～

盛況なシンポジウムを企画いただき、お礼申し上げます。

日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2021 大会長 山口 正和
実行委員長 米村 雅人

令和2年度私立大学等

経常費補助金交付状況

日本私立学校振興・共済事業団は3月、私立の大学、短期大学、高等専門学校に交付する令和2年度の経常費補助金が、3,077億7,530万9千円になると発表した。

大学57校、短期大学280校、高等専門学校2校の計859校に交付され、本学は59億3,072万5千円(前年比2億1,029万9千円増)と、大学では5番目に多い交付額だった。



告辞：小川良雄学長

新緑が爽やかな季節となった。5月14日、第57回医学部附属看護専門学校戴帽式を昭和大学上條記念館で挙行し、学生136名が看護師の象徴であるナースキャップを戴いた。



ナースキャップ授与

今年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、校歌斉唱は清聴のみにするなど、必要な措置を講じたうえで執り行われた。一人ひとりへの戴帽後に

は、戴帽生代表の柝丸冬羽さんによるナイチンゲール誓詞が読み上げられ、看護師を目指す者としての決意を新たにされた。



ナイチンゲール誓詞：柝丸冬羽さん

小川良雄学長は告辞で「先輩看護師・医師・コメディカル・担当する患者さんとともに、チーム医療の中で看護を学ぶとともに、患者さんに常に寄り添い、看

護を実践する至誠一貫の心を育ててください。さらに毎日自らを磨き、清楚な美を体現してください。臨床実習が安全に実施され、実りあるものになる事を願っています」と述べた。

最後に学生代表の武田十也さんが昭和大学宣言を行った後、看護専門学校の歌を清聴して閉式となった。



昭和大学宣言：武田十也さん

令和2年度 大学別交付額		大学(577校) (千円)			
順位	前年	大学名	一般補助	特別補助	補助金合計
1	1	早稲田大学	7,878,845	1,362,242	9,241,087
2	2	日本大学	7,892,112	1,134,018	9,026,130
3	3	慶應義塾大学	7,225,267	996,781	8,222,048
4	4	立命館大学	5,512,318	509,355	6,021,673
5	6	昭和大学	5,640,040	290,685	5,930,725
6	5	東海大学	5,600,792	319,470	5,920,262
7	7	順天堂大学	5,100,781	549,077	5,649,858
8	8	近畿大学	4,343,270	373,341	4,716,611
9	9	北里大学	3,621,652	406,084	4,027,736
10	10	福岡大学	3,634,937	251,929	3,886,866
11	15	帝京大学	3,117,421	318,162	3,435,583
12	11	明治大学	2,996,006	386,938	3,382,944
13	12	東京理科大学	3,004,800	324,260	3,329,060
14	13	東京慈恵会医科大学	3,162,061	160,558	3,322,619
15	14	関西大学	2,823,711	462,095	3,285,806

医師主導治験に付随した 探索的研究のためのクラウドファンディング実施

学校法人昭和大学(以下「昭和大学」)を主体に全国11施設共同で医師主導治験(課題名:PD-L1高発現未治療進行非小細胞肺癌に対するネシツムマブ+ペムブロリズマブ療法)の第II相試験、代表者:堀池篤准教授が実施されている。この医師主導治験と並行して、治療の効果を予測するための指標(バイオマーカー)を探索する研究の資金をまかなうため、現在、昭和大学では初となるクラウドファンディングを実施している。この研究は、世界で最も死亡率が高い肺癌に対する治療を大きく発展させる可能性がある。

本治験は、従来の企業主導型治験のような潤沢な研究費がなく、臨床試験は実施できるが、患者さんの血液試料などを利用し、付随探索研究を実施する資金は不足している。

臨床薬理研究所の吉村清教授、和田聡教授の部門が実施する今回の付随探索研究は、本治験の評価に直接影響する患者さんの免疫力を「血液中物質と腸内細菌」の解析によって、どの患者さんが本治療法によく効くか、免疫力をもっているかを検討するものである。この研究の成果が、がん患者の「カンガルーテール現象」(図1・カンガルーの尾のように概念の極めて重要な基礎的エビデンスとして大きく役立つと考えている。本付随探索研究について広くご理解とご賛同をいただいた方々からのご寄付を研究資金として、今後の新しい治療法の開発に貢献できる質の高い研究を実施していく。(※4面の寄付募集を参照)

